

速報展

発掘された鈴鹿 2010

2011年3月19日(土)～6月26日(日)

鈴鹿市考古博物館では、毎年市内遺跡の発掘調査の成果をいち早く皆さまにお知らせするため、速報展「発掘された鈴鹿」を開催しています。

発掘調査はその目的によって、考古学の研究上必要とされる場合に行われる学術調査と、開発などの工事のために壊される場合に行われる緊急調査の2種類に分けられます。遺跡は現状のまま後世に残すのが望ましいのですが、開発に伴いやむなく壊される場合も少なくありません。

速報展では、出土した遺物とともに、発掘調査現場の様子や遺物の出土状況、遺構の詳細などを写真パネルや図面で紹介いたします。この機会に、郷土の貴重な文化遺産に触れ、その保護への取り組みについてご理解いただけましたら幸いです。



平田遺跡第19次調査区全景（北から）

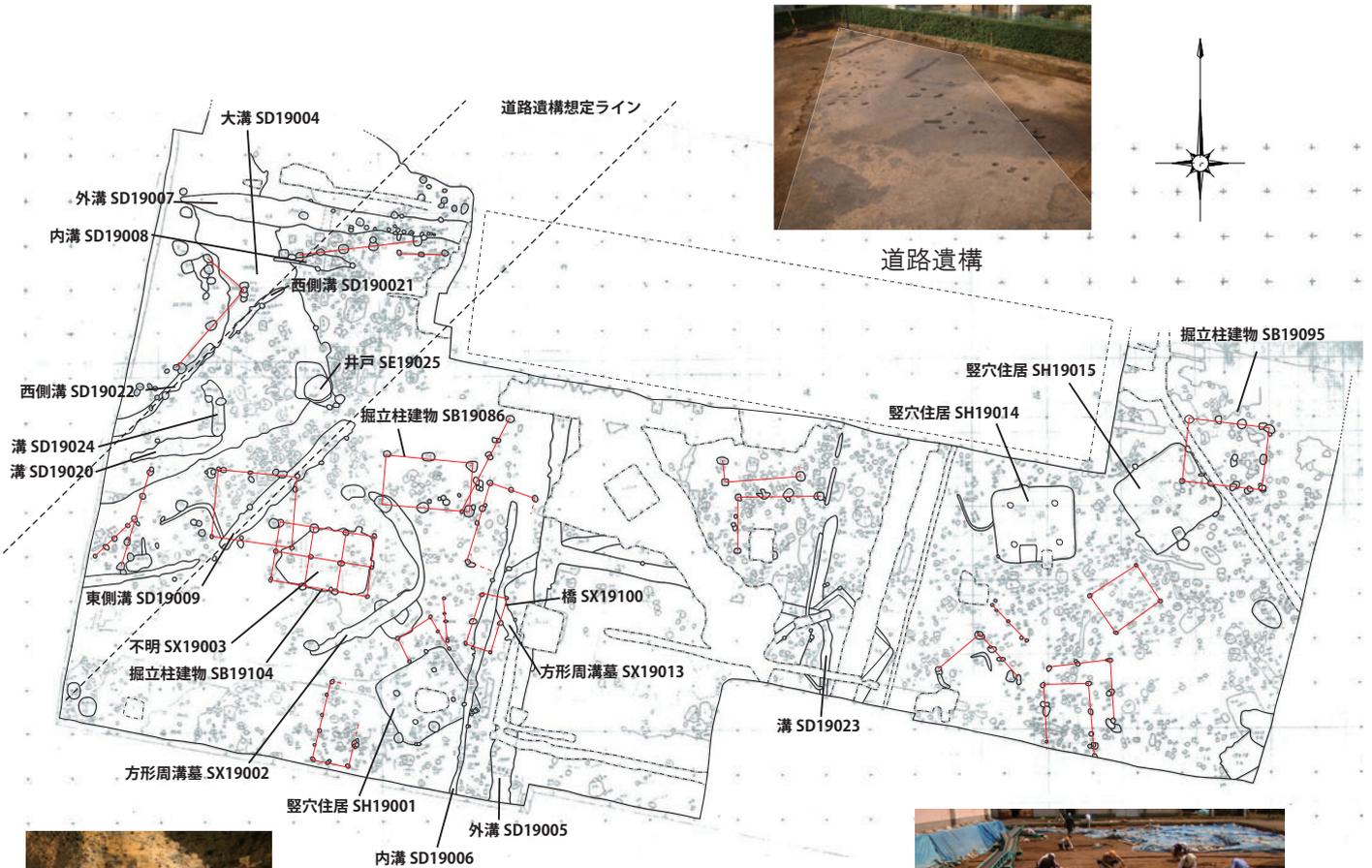


平田遺跡第22次調査区全景（北から）

ひらた
平田遺跡 第19～22次 平田本町一丁目・弓削一丁目

19次 2月2日～7月7日 平田送水場改築に伴う緊急調査
21次 9月29日～10月8日 道路改良工事に伴う緊急調査

20次 6月10日～6月17日 個人住宅建設に伴う緊急調査
22次 11月18日～2月25日 平田送水場改築に伴う緊急調査



第19次主要遺構平面図 S=1:500



土器出土状況

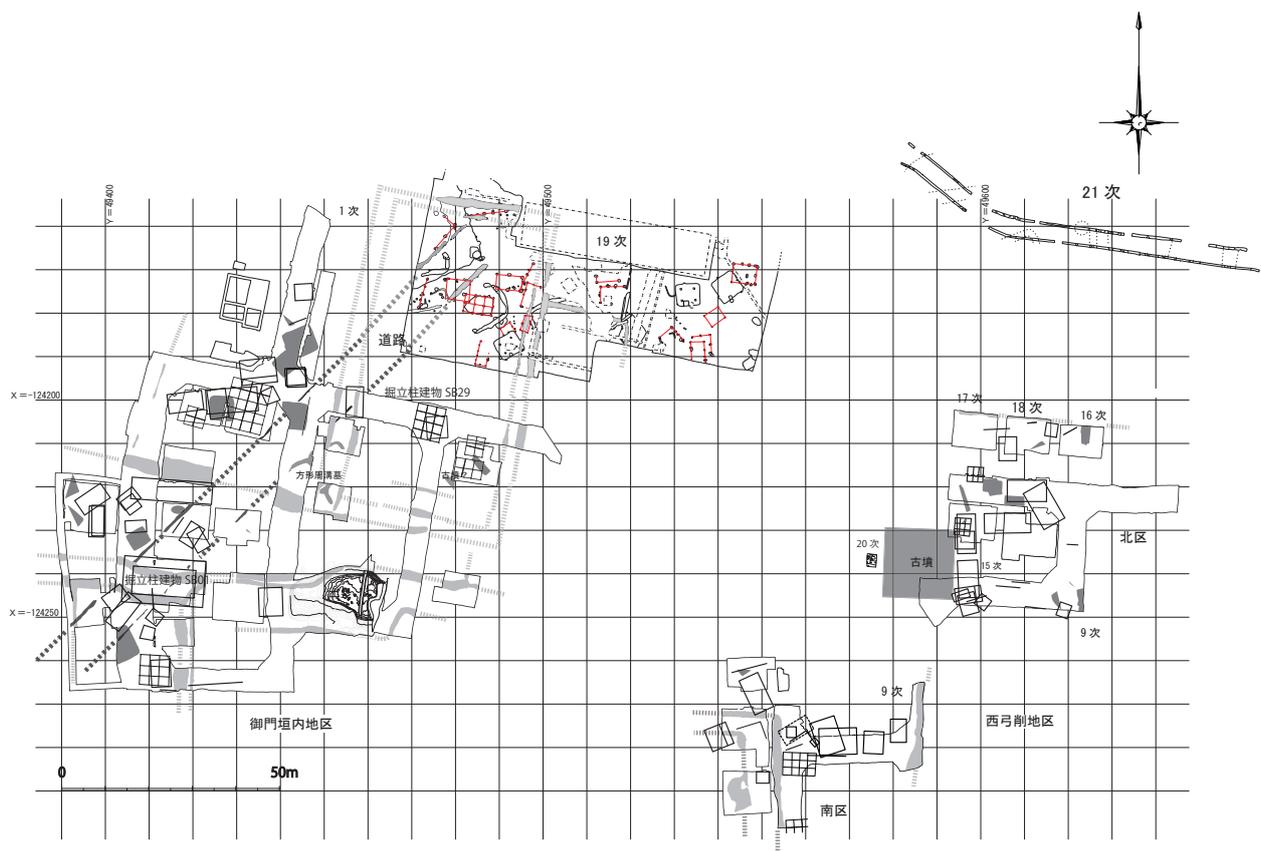


作業風景

平田遺跡は、鈴鹿川右岸の河岸段丘上に位置します。これまでの調査で、^{ほうけいしゅうこうぼ}方形周溝墓、古墳、弥生時代～平安時代頃の集落跡、道路遺構、中世の建物跡を確認しています。格式の高いとされる四面廂付掘立柱建物や道路跡の検出、^{えんめんけん}円面硯等の出土により、^{かんが}官衙関連施設や有力豪族の居宅が想定されています。また、瓦の出土から白鳳寺院の存在も推定されています。『続日本後紀』には平安時代前期頃の当地に^{かわまたのあがたのみやつこ}川俣 梶造の一族が居住していたとの記述があり、川俣氏との関係も考えられる遺跡です。

19次調査では、古墳時代前期初頭の集落跡や古代の道路跡、中世の屋敷地の区画溝などを検出しました。なかでも注目されるのは、長さ15mにわたって確認された道路跡です。幅約9m、北東-南西方向の直線道路で、過去の調査成果を合わせると、総長約130mに達します。古代の伊勢の官道を考える上でも重要な成果といえます。

^{せきぞく}石鏃、^{はじき}土師器、^{すえき}須恵器、^{りよくゆうとうき}緑釉陶器、^{せいじ}黒色土器、^{はくじ}青磁、白磁などが出土しました。22次調査では石刀が出土しています。



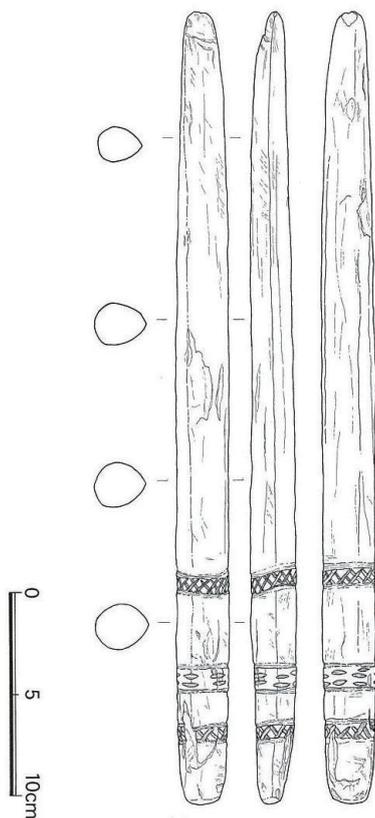
平田遺跡主要遺構平面図 S=1 : 1750

平田遺跡出土石刀

平成 16 年の 1 次調査で出土した縄文時代晩期前半の石刀です。出土した場所は弥生時代後期末の方形周溝墓の溝であるため、何らかの原因で紛れ込んだものと考えられています。

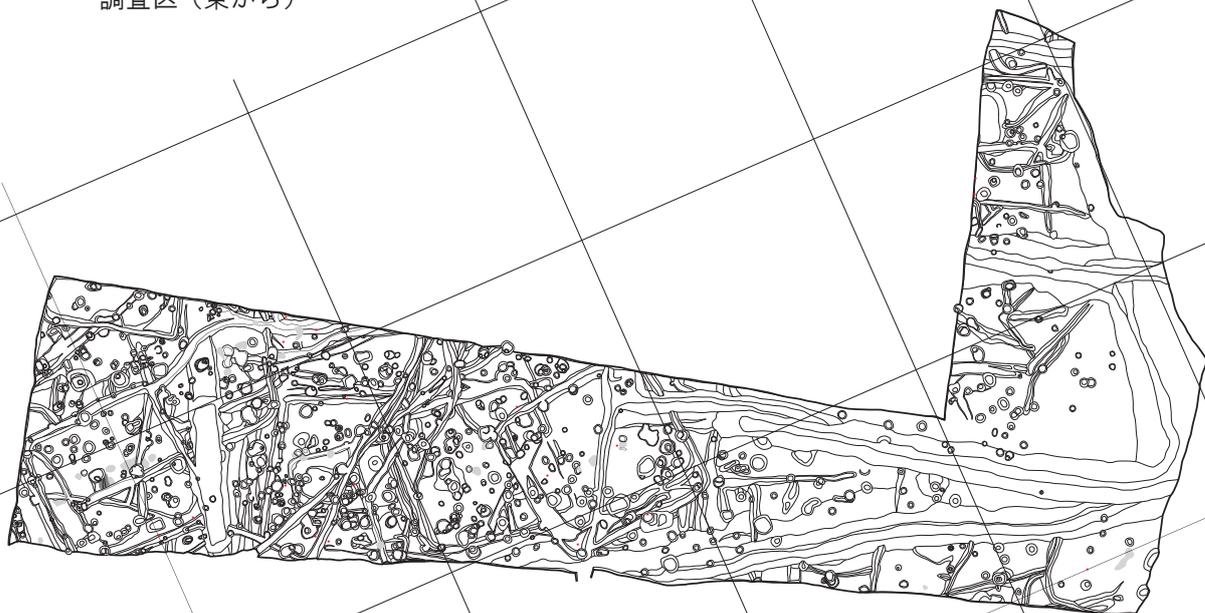
長さ 392mm，幅 25.3mm，厚さ 22.3mm で，^{へんがん} 石材は片岩，形は直刀形で，3 条の文様帯を有します。文様のある完形の資料では県内唯一の出土例です。

石刀は実用品ではなく，石剣や石棒と同じように祭祀や呪術に関わる道具であると考えられています。





調査区（東から）



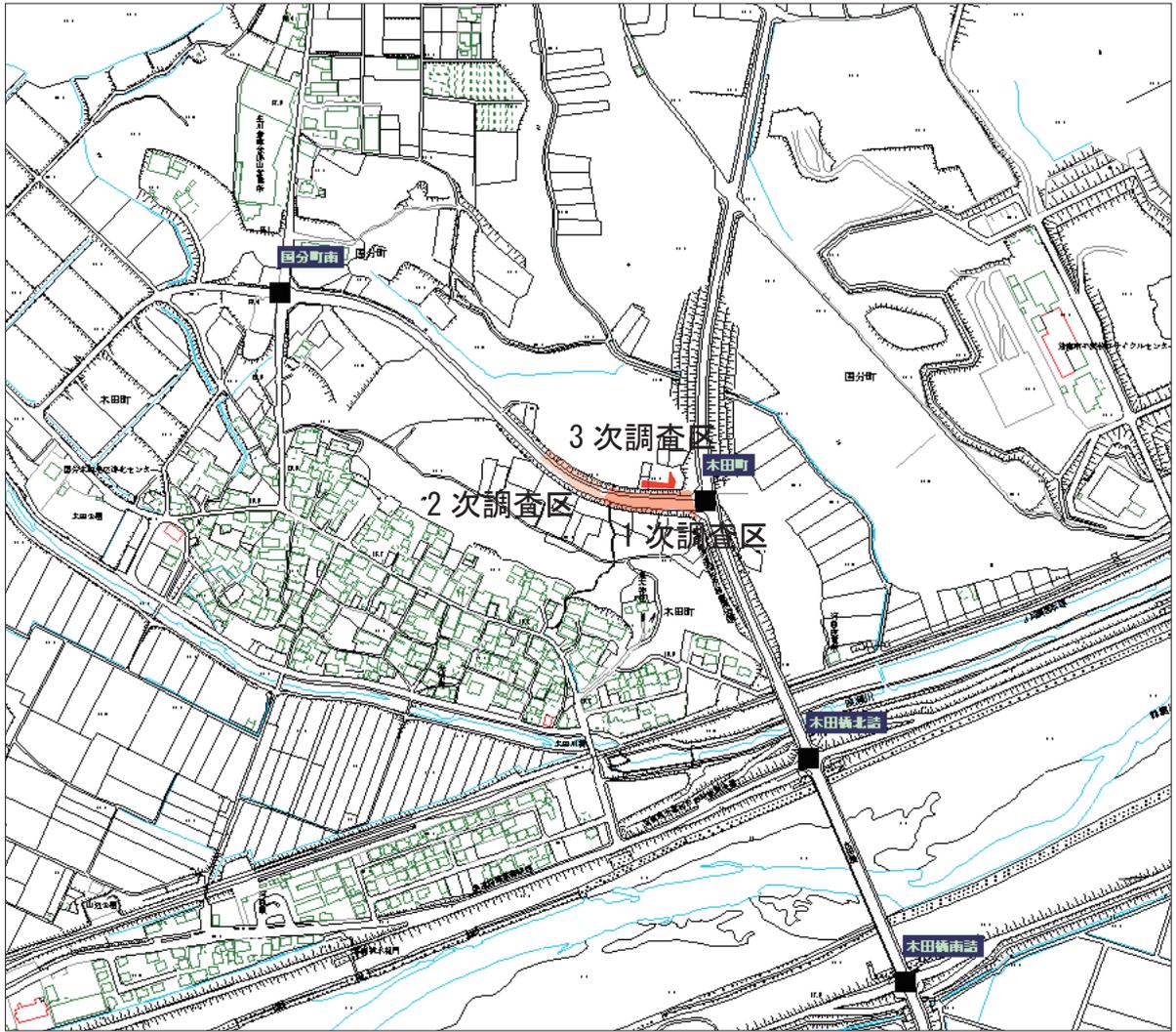
遺構平面図 S=1 : 300



作業風景



調査区（西から）



調査区配置図 S=1:5000



土器出土状況



作業風景

磐城山遺跡は、鈴鹿川左岸の丘陵上に位置する市内でも有数の弥生時代の遺跡です。

これまでの調査で、弥生時代の環濠^{かんごう}や弥生時代後期及び古墳時代後期頃の竪穴住居が60棟以上見つかりました。

今回の調査でも、少なくとも40棟を超える竪穴住居が見つかりました。そのほか、掘立柱建物、中世の区画溝^{どこうぼ}、土壌墓、多数の溝と柱穴も検出しました。

弥生土器、土師器、須恵器、白磁^{やまぢやわん}、山茶碗^は、羽釜^{がま}などが出土しています。

十宮古里遺跡は、鈴鹿川右岸の段丘上に位置する弥生時代～中世の複合遺跡で、これまでは神戸中学校遺跡と呼ばれていました。

今回の調査区は遺跡の北東に位置し、多数の柱穴と建物2棟を確認しました。柱穴から縄文土器、土師器、包含層から弥生土器が出土しました。縄文土器の出土により、この遺跡が弥生時代以前にさかのぼる時代の遺跡である可能性が出てきました。



縄文土器



土坑 SK0801, SK0802 (西から)

伊勢湾岸、沖積低地に位置する微高地に広がる県内を代表する弥生時代の遺跡です。出土した弥生土器は上箕田Ⅰ～Ⅳ式に分類され、基準資料とされています。また一部は市指定文化財となっています。5次調査では、縄文時代晩期の包含層が検出され、深鉢、浅鉢、壺などが出土しました。

今回の調査では土坑、柱穴が確認され、弥生土器が出土しています。

平田野中学校移転に伴い、建設予定地内の遺構及び遺物の包蔵状態の確認を目的として、本郷遺跡を含む12か所の調査区を設定し、調査を行いました。その結果、10か所のトレンチから遺構を検出し、すべてのトレンチから遺物が出土しました。

主な遺構は、掘立柱建物、溝、土坑、柱穴などです。土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁、白磁、山茶碗などが出土しています。

なお、平成22年3月17日～19日には学術調査を行いました。



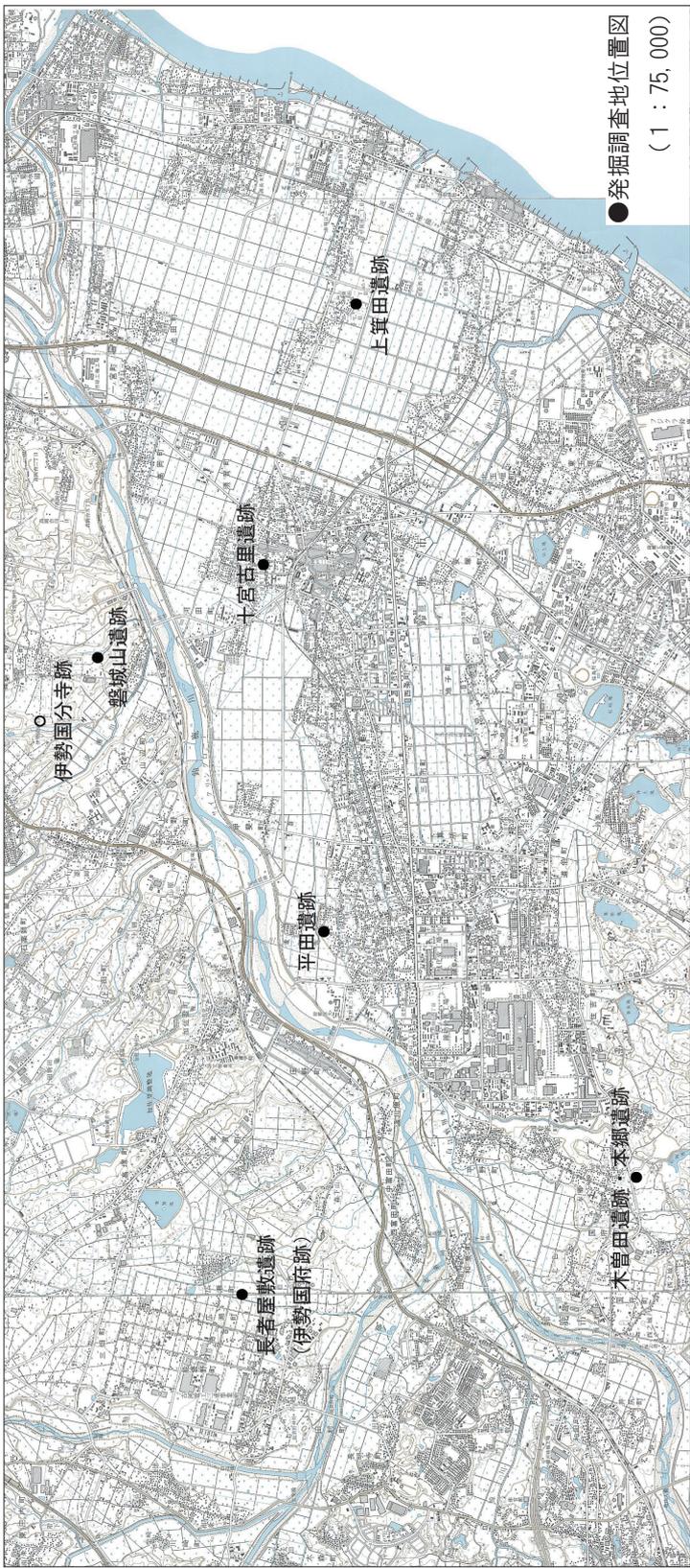
遺構検出状況

長者屋敷遺跡は、これまでの発掘調査によって、奈良時代中頃の伊勢国府跡であることが確認され、矢下地区の政庁跡と南野・長塚地区の官衙群の計3か所73,940㎡が国の史跡に指定されています。現在も鈴鹿市考古博物館によって毎年学術調査が行われています。

今回の調査区は、金藪と呼ばれる長者伝説の残る森の北側にあたります。調査の結果、27次調査で確認された幅80尺の道路（南北大路）の側溝は検出されませんでした。その他の遺構もなく、遺物も出土しなかったことから、北方官衙の北限が少しずつ絞り込まれてきています。

展示品目録

No.	遺跡名(調査回数)	資料名	時代(時期)	所在地	点数	備考
1	平田遺跡(第19次)	石鏃	縄文	鈴鹿市平田本町一丁目	4	
2	平田遺跡(第21次)	石斧	縄文	鈴鹿市弓削一丁目	1	
3	平田遺跡(第22次)	石刀	縄文	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
4	平田遺跡	石刀	縄文	鈴鹿市平田本町一丁目	1	参考資料第1次
5	平田遺跡(第19次)	土師器甕	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
6	平田遺跡(第19次)	土師器甕	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	3	台付甕 台部
7	平田遺跡(第19次)	土師器壺	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	2	
8	平田遺跡(第19次)	土師器壺	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	1	口縁部
9	平田遺跡(第22次)	土師器壺	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
10	平田遺跡(第19次)	土師器高坏	古墳(前期)	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
11	平田遺跡(第19次)	須恵器壺	古墳(後期)	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
12	平田遺跡(第20次)	須恵器杯身	古墳(後期)	鈴鹿市弓削一丁目	1	
13	平田遺跡(第20次)	須恵器杯	古墳(後期)	鈴鹿市弓削一丁目	1	
14	平田遺跡(第19次)	土師器甕	奈良	鈴鹿市平田本町一丁目	1	把手
15	平田遺跡(第20次)	土師器甕	奈良	鈴鹿市弓削一丁目	2	口縁部
16	平田遺跡(第19次)	土師器甕	平安	鈴鹿市平田本町一丁目	3	
17	平田遺跡(第19次)	土師器杯	平安	鈴鹿市平田本町一丁目	2	
18	平田遺跡(第19次)	緑釉陶器	平安	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
19	平田遺跡(第19次)	黒色土器椀	平安	鈴鹿市平田本町一丁目	4	
20	平田遺跡(第19次)	円面硯	平安	鈴鹿市平田本町一丁目	1	
21	平田遺跡(第20次)	灰釉陶器	鎌倉	鈴鹿市弓削一丁目	1	
22	平田遺跡(第19次)	青磁	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	5	
23	平田遺跡(第19次)	白磁	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	6	
24	平田遺跡(第19次)	山茶碗	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	1	墨書
25	平田遺跡(第19次)	山茶碗	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	5	
26	平田遺跡(第19次)	山皿	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	7	
27	平田遺跡(第20次)	山皿	鎌倉	鈴鹿市弓削一丁目	1	
28	平田遺跡(第19次)	土師器皿	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	2	
29	平田遺跡(第19次)	土錘	鎌倉	鈴鹿市平田本町一丁目	2	
30	平田遺跡(第19次)	羽釜	室町	鈴鹿市平田本町一丁目	1	5片
31	磐城山遺跡(第3次)	石鏃	弥生(中期)	鈴鹿市木田町字上條	1	
32	磐城山遺跡(第3次)	弥生土器甕	弥生(後期)	鈴鹿市木田町字上條	4	
33	磐城山遺跡(第3次)	弥生土器壺	弥生(後期)	鈴鹿市木田町字上條	6	
34	磐城山遺跡(第3次)	弥生土器高坏	弥生(後期)	鈴鹿市木田町字上條	5	
35	磐城山遺跡(第3次)	土師器甕	古墳(後期)	鈴鹿市木田町字上條	1	把手
36	磐城山遺跡(第3次)	須恵器杯蓋	古墳(後期)	鈴鹿市木田町字上條	3	
37	磐城山遺跡(第3次)	須恵器杯身	古墳(後期)	鈴鹿市木田町字上條	1	
38	磐城山遺跡(第3次)	須恵器はそう	古墳(後期)	鈴鹿市木田町字上條	3	
39	磐城山遺跡(第3次)	白磁	鎌倉	鈴鹿市木田町字上條	1	
40	磐城山遺跡(第3次)	山茶碗	鎌倉	鈴鹿市木田町字上條	4	
41	磐城山遺跡(第3次)	土師器皿	室町	鈴鹿市木田町字上條	2	
42	磐城山遺跡(第3次)	羽釜	室町	鈴鹿市木田町字上條	2	
43	磐城山遺跡(第3次)	土玉		鈴鹿市木田町字上條	1	
44	磐城山遺跡	弥生土器脚付壺	弥生(後期)	鈴鹿市木田町字上條	1	参考資料第1次
45	磐城山遺跡	弥生土器高坏	弥生(後期)	鈴鹿市木田町字上條	1	参考資料第1次
46	十宮古里遺跡(第4次)	縄文土器片	縄文	鈴鹿市十宮四丁目	3	
47	上箕田遺跡(第8次)	弥生土器甕	弥生	鈴鹿市上箕田一丁目	1	
48	上箕田遺跡(第8次)	弥生土器蓋	弥生	鈴鹿市上箕田一丁目	1	
49	上箕田遺跡	弥生土器壺	弥生(後期)	鈴鹿市上箕田一丁目	2	参考資料第1次
50	木曾田遺跡	白磁	鎌倉	鈴鹿市国府町字木曾田	1	
51	木曾田遺跡	山茶碗	鎌倉	鈴鹿市国府町字木曾田	2	
52	木曾田遺跡	鞆羽口		鈴鹿市国府町字木曾田	1	
53	長者屋敷遺跡	軒丸瓦	奈良	鈴鹿市広瀬町字矢下	2	参考資料第9次
54	長者屋敷遺跡	軒平瓦	奈良	鈴鹿市広瀬町字矢下	2	参考資料第9次
55	長者屋敷遺跡	丸瓦	奈良	鈴鹿市広瀬町字中土居	1	参考 第14次・押印「人」IB02
56	長者屋敷遺跡	平瓦	奈良	鈴鹿市広瀬町字中土居	1	参考 第14次・押印「人」IA06
57	長者屋敷遺跡	平瓦	奈良	鈴鹿市広瀬町字中土居	1	参考 第14次・押印「上」IA11
				計	118	



この地図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図「鈴鹿」「亀山」を使用したものである。

◆入門講座◆

「古墳を調査するということ」

講師：中井正幸さん（大垣市教育委員会文化振興課）

日時：3月19日（土）午後2時から

「中世のやきもの―常滑焼を中心に―」

講師：中野晴久さん（常滑市民俗資料館）

日時：6月25日（土）午後2時から

◆スライド説明会◆

5月15日（日）「平田遺跡」

6月11日（土）「磐城山遺跡」

午後2時から

 **鈴鹿市考古博物館**
Suzuka Municipal Museum of Archaeology

〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町 224 番地

TEL 059-374-1994 FAX 059-374-0986

E-mail: kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/>